

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	2月18日(金) ～19日(土)	第10回水理講演会	土木学会	1号7ページ参照
	5月27日(金)	第52回通常総会	札幌市	2号2 "
	5月28日(土)	総合講演会	同	2号2 "
	5月28日(土)	懇親会	同	2号2 "
	5月28日(土)	年次学術講演会	同	2号2 "
	5月29日(日)			
	5月29日(日) ～31日(火)	見学会	北海道各地	2号2 "
関西支部	2月26日(土)	学生映画会	近畿大学	2号7 "
中四支部	2月19日(金)	防災講演会	広島市	1号12 "
そ の 他	2月19日(土)	河川災害と水収支に関するセミナー	土木学会	1号7 "
	3月9日(水) ～11日(金)	応用測定に関する講習会	京都市	1号8 "
	4月19日(火) ～21日(木)	第3回理工学における同位元素研究発表会	東京	12号4 "
お知らせ	■ 41年からの会費改正についてのお知らせ			2号3 "
	■ 41年度論文集予約申込みについて			2号4 "
	■ 第2回「国土開発映画コンクール」作品募集			2号5 "
	■ 土木図書館および講堂の利用について			2号6 "
	■ 41年度原研共同利用による総合研究の募集について			2号7 "
	■ 山路自然科学奨学賞候補募集について			2号7 "
	■ 8学会互報欄			2号8 "
■ 国際会議のお知らせ			2号8 "	



監事 武内 修氏 急逝さる

本学会の監事武内 修氏は去る41年1月7日心筋梗塞のため突然急逝されました。享年59才。武内氏は名工建設株式会社の社長として同社の静岡支店で年頭の挨拶中にたおれ、付近の病院で手当の甲斐もなく、そのままご他界になったのであります。痛惜に堪えず謹んで哀悼の意を表します。

氏は昭和4年、北海道帝国大学土木工学科を卒業後ただちに鉄道省に奉職、同18年には大阪鉄道局施設部総務課長になられ、同22年転じて東京地方建設部副長兼新橋地方施設部副長、同年10月鉄道総局工事課長に栄進されました。

同24年鉄道省を退職、大成建設株式会社に入社、土木技師長兼土木部技術室主査となられ、32年5月、同社取締役役に就任、兼ねて奥只見出張所長となられて、電源開発株式会社の奥只見発電所の当時わが国最大といわれた地下発電所の工事を完成されました。36年同社取締役土木部次長兼道路部次長となり、同39年10月同社退任、推されて名工建設株式会社社長に就任、爾來着々として成果を挙げつつあった矢先の突然のご他界でありました。

土木学会の監事に就任されたのは昭和39年5月であり当学会初代の監事として、理事会にはほとんど欠かさず出席、昭和39年度の決算に際しては40年5月小林監事と共に、終日熱心に監査をせられました。当時のご感想としてお仰言ったことは、日本を代表する学会としては基本金が少ないのに驚いた、もっと基本金の充実をはかるべきである、また学会の収入の道についても工夫すべきだということでした。

去る1月9日は大磯の御宅で告別式が行われましたが、丹精の寒椿が今はなき主も知らずに赤く咲きほこっていました。1月14日名工建設の社葬が名古屋で行なわれました。

第 52 回通常総会および第 21 回年次学術講演会

昭和 41 年度通常総会および年次学術講演会は、つぎの日程で札幌市において開催いたします。

学術講演会の講演申込みは 1 月 15 日(土)で締切りましたが、原稿は 2 月 28 日までに必ず学術講演係(札幌市北 12 条西 8 丁目北海道大学工学部土木教室 尾崎 晃教授)あてご送付下さい。

総会懇親会、見学会、講演概要などの申込み方法は 3 月下旬にプログラム(別送)でお知らせいたします。

○行 事 日 程：

1. 通常総会：5 月 27 日(金) 14 時～17 時 於日本生命ビル(札幌市北 3 条西 4 丁目)
2. 総合講演会：5 月 28 日(土) 9 時～12 時 於北大クラーク会館(北大構内)
 - 9.05～10.00 日本港湾の特異性と臨海工業地帯造成事業の推移 土木学会会長 工博 岡部 三郎
 - 10.05～11.00 北海道開拓 100 年の歩み 北海道大学教授 農博 高倉 新一郎
 - 11.05～12.00 北海道開発の現況 北海道開発局長 遊佐 志治磨
3. 学術講演会：5 月 28 日(土) 13 時～17 時 } 於北大教養部・工学部(札幌市北 17 条西 8 丁目) 17 条電停下車
 5 月 29 日(日) 9 時～17 時 }
4. 懇 親 会：5 月 28 日(土) 18 時～19 時 30 分 宮の森ガーデン(札幌市郊外宮の森・北海道神宮裏) 会費：500 円
5. 見 学 会：会費：A 班 200 円 B 班 5000 円 C 班 8500 円
 - (A) 札幌市内コース 5 月 30 日(月)(3 時間)
 - (B) 登別、洞爺コース 5 月 30 日～31 日 登別泊、洞爺駅 16.00 時解散
 - (C) 阿 寒 コ ー ス 5 月 29 日夜行～31 日 川湯温泉泊、釧路駅 17.30 時解散

○土木学会第 21 回年次学術講演会実施要領

I 講演要領

- ① 研究発表には、各部門ともできる限り一般報告の方式を採用し、やむを得ない場合に限り著者自らによる個人発表の方式を採用する。
- ② 一般報告の方式は、同じ種別の論文数編ずつを、学会で委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後で質疑討論を行なう。この場合の応答には、各著者が自らこれに当たり、場合により著者の補足説明を認められる。
- ③ 一般報告に付する論文は、学会で決定し、プログラムにのせる。
- ④ 講演概要の記述にあたっては、一般報告者が、その概要にもとづいて報告することを予想し、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやく書くこと。
- ⑤ 個人発表の方式では、講演時間を 10 分(交代時間をふくむ)とし、数編の講演後にまとめて質疑討論の時間を設ける。
- ⑥ 講演概要集は 4 月下旬に各参加者に事前送付する。

II 原稿提出要領

講演申込者はつぎの要領で講演概要の原稿を期日を守って提出すること。

- A. 講演概要集は、原稿をそのまま縮写して、オフセット印刷とするので、定められた原稿用紙を用いること。
- B. 原稿用紙は執筆要領とともに、各支部に準備しているから、所属支部へ請求すること。
- C. 原稿は、2 月 28 日(月)までに、学術講演係(北大工学部土木教室 尾崎 晃教授)あて期日を守って直送すること。
- D. 原稿の長さは 1 題目につき 2 ページ(図、表、写真とも)を原則とする。特に超過するときは、1 ページにつき 2000 円の



阿寒国立公園<Cコース>

阿寒国立公園は北海道の東部に位置し、面積は 874.98 km²あり、東西に走る千島火山帯の活動によってできた阿寒、屈斜路、摩周の三つのカルデラが形成する火山地形が主体をなし、湖と活火山が多く分布し、一帯は亜寒帯原生林で、雄大な火山斜面はエゾマツ、トドマツ、アカエゾマツの深い原始林におおわれている。写真にみる屈斜路湖はカルデラ湖で面積 77.5 km²、湖面標高 121 m 最大深度は 120 m で、中央に見える島は原始林の茂る中島である。 <国民百科事典・平凡社より>

製版料を申受ける。ただし超過は2ページを越えてはならないこと。

E. 講演概要集：講演者（○印）には、その部門の概要集を無料で1部送付（4月下旬）するが、一般は有料とする。

F. 講演概要の別刷：講演者（○印）には、20部を無料、それを越える分は有料とし、申込カードにあらかじめ超過希望部数を明示されたいこと。

III 学術講演発表申込み者へのお願い

- ① 年々発表件数が増加し、当番の講演会係では、プロ編成、同印刷、発送～概要原稿の編集、同印刷発送など一連の作業進行上の期間が最小限に切詰められているので、つぎに再掲する締切期日はくれぐれもお守り下さるよう、係より特にお願いいたします。
学術講演概要の原稿：2月28日
- ② この締切期日が過ぎてから到着のものは作業進行上まったく余裕がないので、残念ながら受理できませんから、あらかじめご了承ください。

41年度から会員の会費改正についてお知らせ

（昭和40年12月18日の臨時評議員会にて決定）

経済界は不況にあえぎ、諸物価は上り、公共料金また相次ぐ値上げが実施されようとしています。このときに当って会費の値上げをお願いしなければならないことは誠に心苦しいものがありますが、業務の効率化をはかり経費の節減につとめ、また一方では広告料、出版等による増収をはかってはおりますが、諸物価や印刷費の上昇、公共料金の値上げ、人件費の増加等のため、いかんとも致しがたい状況に追い込まれましたので、これらの事情ご賢察のうえ、会員各位のご理解とご協力を切にお願い申し上げる次第であります。

以下会費値上げのやむない実情を要約して申し述べます。

1. 会費に対する見返り支出額

39年度の決算から計算いたしますと、次表のように正会員では年会費1800円に対して2221円の支出で123%、学生会員では会費900円に対して1768円の支出で196%となっています。40年度はさらにこれを上まわる数字となることは明らかです。

種 別	会費(年)	会 誌 費	名 簿 費	支部交付金	会議費その他	計	率
正 会 員	1800	1686	220	150	165	2221	123%
学生会員	900	1686	—	—	82	1768	196%

（名簿は2カ年に1回につき経費は半額を計上した）

2. 土木学会の収入源

当学会の収入を39年度の実績で見ると、総収入は1億2058万5000円で、その内訳は大きく分けてつぎの4つとなります。会費30.8%、刊行物25.6%、広告17.2%、受託研究費20.7%であります。広告収入も経済界の不況のため増収は困難の状況であり、刊行物収入も、受託研究費も急激に伸ばすことは困難な情勢です。受託研究費のごときは減少するのではないかと思います。

3. 40年度は欠損見込み

40年度予算は編成するときから無理な点がありましたが、その後給与のベースアップ、印刷費の高騰、出版物が予定より遅れるものがある等のため、諸経費の節約につとめてはおりますが、決算ではある程度の赤字はやむを得ない状況であります。

4. 各種の値上り

すでに新聞などで報じられているように、公共料金はじめ、各種の物価や労賃が相ついで値上げされる情勢にあります。当学会の経理に直接影響の大きいものをあげて見ると、

- a) 郵便料金：郵政省は来年4月から平均36.8%の値上げを要請していますが、郵政審議会は41年7月から

29.5% の値上げとし、封書は 15 円、はがきは 7 円にすることを答申しています。通信費、発送費等は 40% の値上げと考えられ大きく響きます。

b) 鉄道運賃：国鉄は 41 年当初から、私鉄も続いて値上げが決定されています。国鉄の場合、旅客 31.2%、貨物 12.3%、通勤定期 168.0% の値上げが予定されています。また私鉄については平均 22.3% の値上げとなりました。

c) 印刷製本費：当学会および他学会の例をとっても毎年 7~8% の騰勢を示しています。

d) 人件費：学会職員の給与は公務員給与に準じていますが、35 年から毎年 6~8% のペースアップが続けられ、このほか定期昇給がありますので毎年 10% 程度上昇しています。このさう勢は今後も続くと思われま

e) その他：電話料金、水道料金等の値上げも行なわれることは確実です。

5. 他学会の値上げの状況

学会の経営が苦しくなって参りましたことは、ひとり土木学会だけのことではなく、他学会も同様でありまして、過日 8 学会（電気、電気通信、建築、化学、機械、土木、鉄鋼、物理）の担当理事の協議会でこの問題について話し合いが行なわれました。いずれも経営の困難を訴え、すでに値上げをして実施中のところ、決定ずみのところ、検討中のところ等でありましたが、値上げの幅は 33.3% から 100% の範囲であります。

6. 従来の値上げ

個人会員の会費は昭和 37 年度に値上げされました。正会員会費は 1200 円が 1800 円に、学生会員は 600 円が 900 円となり今日に至っております。したがって前回値上げ後 4 ヶ年を経過しています。

団体会員の会費は沢山の等級に分れていますが、36 年に 40~100% の値上げが行なわれました。

7. 会費の値上げ額

会費の値上げは極力避けるべきであります。公共料金はじめ、人件費、諸物価の大幅値上げは避けられない情勢にありますことは前に述べたとおりであり、この危機を脱し、学会の正常な運営を計るためには、会員会費の値上げをお願いするほかありません。種々と検討の結果、次表のように個人会員 33.3%、団体会員平均 49% の値上げをお願いすることに改正された次第であります。何卒ご協力のほどお願いいたします。

	改正会員会費 (41 年 4 月より)	(現行)
正 会 員	2 400 円	1 800 円
学 生 会 員	1 200	900
外 国 会 員	10 ドル	8 ドル
特 別 会 員		
特 級	150 000 円以上	100 000 円以上
1 級 A	100 000	70 000
1 級 B	60 000	40 000
1 級 C	30 000	20 000
1 級 D	15 000	10 000
2 級	7 000	5 000

昭和 41 年度論文集予約申込みについて

◀ 申込締切 3 月 31 日 ▶

41 年度論文集 (41 年 4 月~42 年 3 月) の予約申込みを行ないますので、ご希望の方は年間購読料 1 000 円 (外地の場合は 6 ドル) を添えて、3 月 31 日までにお申込み下さい。従来購読されておられる方もお忘れなくお申込み下さい。

なお、41 年度より論文集の購読料も会費と同様諸般の事情により値上げのやむを得ない事情になりましたのでよろしくご了解下さい。

第2回「国土開発映画コンクール」作品募集

土木学会は昭和39年秋、創立50周年を記念して「国土開発映画コンクール」を開催いたしました。この実績にかんがみて、今後隔年に映画コンクールを開催し、もって最近の土木技術発展のあゆみを、視聴覚によって、広くPRせんとするものであります。「第2回国土開発映画コンクール」作品をつぎによって募集いたします。ふるって応募のほどお願いします。なお、優秀作品は、当学会「建設技術フィルム・ライブラリー」として活用をはかる予定であります。

第2回国土開発映画コンクール要領

1. 内 容：国土開発に関し、土木技術を主とした映画
2. 規 格：16mm カラートーキー（上映時間20分以上）
3. 審 査：土木学会映画審査委員会
4. 賞 状：1等 1編 2等 2編 3等 3編 おのおの賞状ならびに賞牌
5. 発 表：1966年11月24日（土木学会創立記念日）
6. 締 切：1966年9月30日
7. 申 込 先：土木学会事業課あて

土木学会所蔵映画フィルム

土木学会は「創立50周年記念国土開発映画コンクール」入賞作品を中心として下記の優秀映画フィルムを所蔵しております。

貸出しのご希望に応じます。詳細は土木学会事業課へお問合わせ下さい。

土木学会所蔵フィルム (全部16mm, カラー, 光学式トーキー)

国土開発映画コンクール	題 名	時間	版	企 画	製 作	内 容
最 優 秀 賞	銀座の地下を掘る	35分	S	帝都高速度交通営団	KK日本映画新社	地下鉄日比谷線の銀座駅を中心とした建設記録(掘削工法, トレンチ工法)
優 秀 賞	羽田海底トンネル	32	S	首都高速度道路公団	理研科学映画KK	首都高速度道路1号線えびとり川に沈設した羽田海底トンネル(沈埋函工法)
・	横山ダム建設記録	40	W	建設省中部地建	CBC テレビ映画社	揖斐川上流の横山多目的ダムの建設記録(重力式ダム)
準 優 秀 賞	外洋にいどむ	51	W	鹿島建設KK	新 潟 映 画 社	原子力発電所冷却用水を500m沖から採る。海水取水路の建設
・	大阪環状線-西成編	25	S	国鉄大阪工事局	KK日本映画新社	西成線の列車をしながら直上に高架線を建設(ベント杭打)
・	海を渡る砂	25	S	KK臨海土木工業所	KK毎日放送映画	大阪南港埋立用の大量の砂を小豆島沖海底から特殊船舶で採取輸送する
佳 作 賞	名神高速道路の舗装	27	S	日本舗道KK	日本舗道KK	名神高速道路のサブベースから仕上げまでのすべて
	渋谷ディビダーク橋	22	S	鹿島建設KK	KK日本技術映画社	首都高速度道路3号線渋谷立体交差橋建設記録(ディビダーク工法)
	川の上を走る高速道路	25	S	首都高速度道路公団	理研科学映画KK	首都高速度道路4号線が日本橋川の上を走る工事(河中鋼管脚)
	プレバクト工法	25	S	西松建設KK	日 経 映 画 社	大防北港防波堤のかさ上げ(プレバクト工法)
	水—この資源	20	S	水資源開発公団	KK日本映画新社	淀川の長柄可動堰を改良し河道の一部を貯水池として利用
	東海道新幹線総集編	45	W	日本国有鉄道	新理研映画KK	東海道新幹線の計画から完成までのすべて
	名神高速道路	67	W	日本道路公団	KK日本映画新社	名神高速道路の計画から完成までのすべて

土木図書館のご利用について

土木図書館は開館以来約1年、備付図書も着々と整備され、どうやら会員各位のご利用に供するだけの内容も整って参りました。会員であれば、どなたでも、無料で公開しておりますから、下記事項をご参照のうえ、どしどしご利用下さい。

記

- 1) 閲覧証の交付：利用する会員の方は図書館受付にて閲覧証の交付を受けて下さい。
- 2) 閲覧時間：午前9時30分～午後4時30分（ただし臨時に変更することがあります）。
- 3) 休館日：日曜日・国の祝日・年末年始（12月25日～1月5日）・その他臨時に休館することがあります。
- 4) 図書の貸出し：図書の貸出しはいっさい行ないません。
- 5) 文献複写：図書の複写は実費を添えて所定の申込書によって申込んで下さい。

注：備付図書に関する御問い合わせは 電 東京 351-5130・5138（内線 21 番）へお願い致します。

土木図書館講堂のご利用について

土木図書館講堂は図書館活動にふさわしい催物について広く一般に公開しており、各方面からかなりご利用いただいております。使用料その他は下記のとおりです。

土木図書館講堂使用料

講 堂（定員 200 人）

使用者	曜日 時間	平 日				土 曜 日				日 曜 日、祝 日			
		午前	午後	夜間	全日	午前	午後	夜間	全日	午前	午後	夜間	全日
		9.30～ 12.30	13.00～ 16.30	17.00～ 20.00	9.30～ 20.00	9.30～ 12.30	13.00～ 16.30	17.00～ 20.00	9.30～ 20.00	9.30～ 12.30	13.00～ 16.30	17.00～ 20.00	9.30～ 20.00
一 般		3500	4500	5000	10000	3500	5000	5500	12000	4500	5000	5500	13000
関 係 団 体		2400	3000	3500	7000	2400	3500	3800	8500	3000	3500	3800	9000

附 属 設 備

ワイヤレスマイク	1 回 につ き	500
スライドプロジェクター	・	1000
持込電気器具電力料	1kW 時 につ き	50
暖 房 料	1 時 間 につ き	500
冷 房 料	・	250

- 注：1. 講堂の使用は図書館活動にふさわしい催物であること。
 2. 上表の関係団体とは、官公庁、公共企業体、政府関係機関、および関係学協会（本会共催を含む）とする。
 3. 日曜日、祝日は原則として使用を認めない。
 4. 所定の時間を越える使用は原則として認めない。
 5. 使用申込は原則として使用日の2カ月前から受付ける。
 6. 使用申込は所定の申込書に使用料を添えて提出すること。
 7. すでに納めた使用料は特別の事由があると認められた場合は半額を返金する。
 8. 講堂使用に関連して会議室を使用する場合の料金は別の定めによる。

関西支部行事案内 (大阪市東成区中道元町1丁目149番地)
電 大阪 (981) 2510 振替口座大阪 82599 番)

学生映画会 (第9回)

◀ 2月26日 (土) 13.00~ ▶

1. 場 所: 近畿大学 19号館2号室 電 大阪 (721) 2332 番 布施市小若江 321 近鉄大阪線長瀬駅下車東へ徒歩 12分
2. 上映映画: 摩耶埠頭建設の記録第1編 (16ミリ カラー 24分) 摩耶埠頭建設の記録第2編 (16ミリ カラー 17分)
新阪急ビル建設にかかる地下工法の記録映画 (竹中式深礎工法) (16ミリ カラー 29分) サンドドレーン工法
の実際 (16ミリ カラー 25分) ステンレス鋼管 (16ミリ カラー 25分) 斜杭打込載荷試験 (16ミリ
カラー 15分) 合成樹脂橋実験 (16ミリ カラー 20分)
3. 定 員: 500名
4. 参加費: 無料, 正会員の方の参加も歓迎します。

(付) テキスト頒布について

(土木学会関西支部刊行)	頒 価	送 料
構 造 工 学	700 円	100 円
溶 接 構 造	400 円	70 円
第 18 回年次学術講演概要第1部門 (応用力学・構造力学・橋梁)	350 円	学会負担
(関西橋梁鉄骨溶接研究会刊行)		
プレートガーダーの耐荷力に関する理論と実験	1000 円	100 円
(土木学会刊行)		
耐震設計講習会テキスト	700 円	70 円
(土木構造物の耐震設計指針 (案), 地震工学講座の2点一組)		

上記テキストご希望の方は代金に送料を添えて土木学会関西支部 (振替口座利用) へお申し込み下さい。

昭和 41 年度原研共同利用による総合研究の募集について

原研共同利用運営委員会より標記の件に関して案内がありましたので関係者は至急下記申込先へご連絡下さい。

1. 趣 旨: 原子力開発の研究で日本原子力研究所の利用が必要な研究
2. 資 格: 全国国立大学教員
3. 手 続: 申込書 3 通 (所定の申込用紙)
4. 期 限: 1966 年 2 月 15 日
5. 申 込 先: 東京都文京区弥生町 2 丁目 16 の 11 東京大学原子力教育施設管理部内原研共同利用運営委員会
(委員長 向坊 隆氏)
6. 採否決定: 41 年 3 月中旬の委員会において行ない, 4 月上旬までに決定

山路自然科学奨学賞候補募集について

標記の件に関して案内がありましたので関係の方は下記の事項をご参照の上 2 月 20 日までに土木学会総務課へご連絡下さい。

記

1. 候補の対象: 理学・工学・農学・医学の分野において, 学術上の研究業績が特に優秀で, 年令 50 才未満のもの
2. 山路自然科学奨学賞: 本賞一賞牌・副賞一 100 万円 (5 件以内の予定)
3. 推薦の方法: 本会理事会において選考のうえ山路ふみ子自然科学振興財団へ推薦します。
4. そ の 他: 推薦書・その他必要なことは学会へご連絡下さい。

評議員選挙告示

昭和 41 年度評議員の選挙を各支部ごとに 4 月末日までに行ないます。

なお 1 月末日現在における各支部の会員数および評議員の定数はつぎのとおりであります。

支 部	北 海 道	東 北	関 東	中 部	関 西	中国・四国	西 部	合 計
会員数	1 471	1 328	9 294	2 712	5 006	1 315	1 444	22 570
定 数	7	6	41	12	22	6	6	100

理事および監事の選挙告示

昭和 41 年度理事および監事の選挙を 5 月上旬までに行ないます。

「合板型わく」技術講習会

◀ 2 月 15 日 (水) ~ 16 日 (木) ▶

主 催：日刊建設工業新聞社

会 場：都道府県会館（東京都千代田区平河町 2-4）

後 援：土木学会・日本建築学会

会 費：5 500 円

8 学会互報欄

◀ 日本機械学会（東京都港区赤坂一ツ木町 89 電 東京 582-6911）

航空原動機に関する講演会（2 月 22 日（火）10.05，航空宇宙研究所，参加自由）

内燃機関に関する講演会（3 月 11 日（金）10.00，土木学会講堂，前刷締切 3 月 1 日）

材料の強度と破壊に関する講習会（3 月 18 日（金），19 日（土），発明会館ホール，聴講申込締切 3 月 10 日，
会費 2 000 円）

気液二相流の流動と熱伝達に関する講習会（4 月 18 日（月），19 日（火），発明会館ホール，聴講申込締切
4 月 9 日，会費 2 000 円）

国際会議のお知らせ

(1) 5th International Congress of the Precast Concrete Industry

期 日：1966 年 5 月 21 日～27 日

場 所：London

上記標題の会議案内が学会に来ております。くわしくは土木学会編集課までご照会下さい。

名誉会員 永井専三氏、佐藤忠三郎氏が亡くなりました。謹んで哀悼の意を表します。いろいろな関係で 3 月号に改めて追悼文を掲載いたすこととなりましたので御了承下さい。